

4月～5月中旬(残雪期)の当山域で有効な装備の例 詳細は登山用品店でご相談下さい。

：レイヤード(服装)

アンダーウエア、シャツ、ボトム共にいわゆるスリーシーズン用をご着用下さい。尚、この時期の当山域は降雪の可能性が高いのでハーフパンツや山スカートは不向きです。

- ：皮革の軽登山靴か防水性の良いハイカットのトレッキングシューズ ※1
- ：地図とコンパス(地形図をご準備下さい。登山地図は参考程度に) *1
- ：防寒具(フリースジャケットや薄手のダウンジャケットなど)
- ：手袋(薄手のアクリル製など保温力のあるタイプがベスト。予備をお忘れなく) ※2
- ：帽子 ※3
- ：透湿性防水素材(ゴアテックスなど)の登山用雨具 ※4 ※5
- ：ザックカバー(必需品)
- ：折りたたみ傘(風がなく弱雨ならザックカバーとの併用で快適)
- ：スパッツ(ゲーターのこと) ※6
- ：ヘッドライト(日帰りでも必ず携行して下さい。電池残量の確認をお忘れなく)
- ：タオルや日本手ぬぐい(ちょっと多めに)
- ：日焼け止め(必需品。山の紫外線は曇りでも予想以上に強いです。お肌に合った製品を)
- ：レスキューシート(ツエルトでもOK) ※7
- ：水筒(飲料物は常に携行して下さい。テルモスでもOKですが少々重いかも) ※8
- ：非常食(携行性に優れてすぐに食べられるご自身の好物を1～2食。凍結に注意) ※9
- ：ストック(万が一に備えて一応携行して下さい)
- ：サングラス(万が一に備えて一応ご準備下さい) *2
- ：モバイルバッテリー(携帯電話本体の電池と共に必ずフル充電で携行) *3
- ：滑り止め(チェーンスパイクを推奨) *4

※1 スニーカーやトレランシューズは今の時期はお奨めしません。

※2 オーバークラブ(5本指)かミトン(3本指)もあると降雪時など万が一の際も安心。

※3 何でもOK。冬山並みの寒さに備えてニット帽子も持っているとう安心。

※4 透湿性防水素材を使用した登山用雨具は種類が多いので必ず専門店でご相談下さい。

※5 登山用雨具は高性能のアウター代わりになるので大変有効な装備です。

※6 無雪期用で構いません。種類があるので必ず専門店でご相談を。

※7 ルートによってはツエルトとシートを両方携行されることをお奨めします。

※8 テルモスとは市販のステンレス製の保温・保冷水筒の総称。昔の山ヤの呼び方です。

※9 所謂栄養補給食にこだわることはありません。

*1 現在位置確認は必ず地形図で。スマホやGPS機器はサブとして使うことをお奨め。

*2 安価な製品は避けましょう。眼鏡店や登山用品店でご相談下さい。

*3 充電用ケーブルが必要な場合絶対に忘れないで下さい。

*4 丸川峠方面のルートでは必ずご用意下さい。詳しくはお問合せ下さい。

>ワンポイント(日本ゴアテックス社のパンフレットなどから)

雨具を長時間使用した時や汚した場合、洗濯することで透湿性や表面の撥水性が元に戻るの長持ちさせることができます。

洗濯の際は、必ずネットに入れて洗濯タグに従い、完全に乾燥したらあて布をして低温でアイロンをかけて下さい。ドライクリーニングが必要な場合は必ず専門店でご相談下さい。